



2016年 宮古島市の重大ニュース



新ごみ処理焼却施設の供用開始

平成 28 年 4 月、新ごみ処理焼却施設（宮古島市クリーンセンター）が本格的に稼働。新ごみ処理焼却施設は、1 日 16 時間の准連続運転でストーカ式焼却炉 2 基を設置した日量 63 トンの処理能力を備えた施設となっている。最新技術の導入により公害防止と環境保全を最優先としており、安全で安定的なごみ処理を実現するだけでなく、自然環境への配慮や周辺の景観とも調和のとれた施設となっている。



第 9 回離島甲子園で「宮古島アララガマボーイズ」が初優勝

第 9 回国土交通大臣杯 全国離島交流中学生野球大会（通称：離島甲子園）が島根県隠岐の島町で開催され、宮古島市の中学校選抜チーム「宮古島アララガマボーイズ」が初優勝の快挙を成し遂げた。



入域観光客数増加

羽田空港直行便や関西国際空港直行便の就航、さらにクルーズ船の大幅な寄港数の増加等により、月別入域観光客数は毎月前年を上回った。平成 28 年（11 月時点）の入域観光客数は前年と比べ約 39% 増加した。

伊良部島小中一貫校建設基本計画の決定

伊良部島小中一貫校（結の橋学園）の建設基本計画が決定された。計画の内容としては、9 年間の連続した学びに対応した施設一体型の校舎の建設が盛り込まれている。



平良港、農林水産省動物検疫指定を受ける

海外クルーズ船寄港の増加によって、家畜伝染病に対する水際検疫の強化が急務となり、平良港を動物検疫指定港にすべく農林水産省及び沖縄県へ要請活動を実施し、平成 28 年 11 月 1 日に動物検疫指定港となった。

池間地区防災センター落成

平成 28 年 3 月に池間地区防災センターが完成。同センターの整備により、池間地区における津波や台風等の災害に備えた避難場所を確保した。



肉用牛競り販売実績過去最高を記録

宮古地区の平成 27 年度肉用牛競り販売実績は、全国的な子牛不足等を背景に、平成 26 年度実績を上回る 39 億 3366 万円となり、過去最高を更新した。平成 28 年度も高値傾向が続いており 40 億円達成も現実味をおびてきた。



宮古島市文化ホール（マティダ市民劇場）開館 20 周年

劇場型多目的ホールとして平成 8 年に開館したマティダ市民劇場が 20 周年を迎え、「劇団ぴん座」の旗揚げ公演や、自主文化事業として「2016 ダンスキャンプ IN 宮古島」が開催された。

新宮古食肉センター落成

上野野原で建設を進めていた新宮古食肉センターが 4 月 21 日に落成し、供用を開始した。食肉センターを拠点として肥育牛の生産振興や養豚の再生等を図ることで流通形態の確立やブランド化が期待できる。



インターネットによるふるさと納税受付開始

10 月よりインターネットによるふるさと納税の受付が可能となり、全国から本市を応援して下さる方々に対して、ふるさと納税制度をより身近なものとして提供できる体制を構築した。また、寄附者への返礼品として多くの特産品や体験型の観光商品を取り揃え、ふるさと納税を通して本市の魅力为全国各地に PR が可能となった。



NHK のど自慢 17 年ぶりに開催

平成 28 年 1 月、市制施行 10 周年記念事業として、平成 11 年以来 17 年ぶりとなる NHK のど自慢がマティダ市民劇場で開催された。



宮古空港横断トンネル道早期整備促進期成会の発足 (11 月 10 日)

空港東側において、スポーツ観光交流拠点施設の整備や大型商業施設の建設計画もあり、交通量の増大による渋滞が予想されることから、交通ネットワークの機能向上に向け、宮古空港横断トンネル道の早期整備実現に向けた期成会が発足し、沖縄県知事へ要請を行った。